

「市街地循環バス活性化検討会議」実施概要

A. 開催の目的

三次市の中心市街地を運行する「みよしウェーブ号」の利用状況は1便あたり約1.9人と少ない。市民がウェーブ号を認知していない点も、利用者低迷の一因と考えられる。

他方で、高齢化が進む三次市では、今後、公共交通を利用する市民が増え、ニーズが集中する市街地の医療機関や買物先を回るバス路線の必要性が高まると予想できる。

以上より、ウェーブ号の運行内容の再編を含め、利便性の向上につながる市街地循環バスを市民と協働で検討するために本会議を設置した。具体的な検討内容は、運行ルートやバス停位置、ダイヤなどの運行内容、及び情報提供に関する改善策、地域で公共交通を支える意識づくりなど、公共交通の利用促進策についてである。

また、本会議の検討結果は「三次市地域公共交通総合連携計画」へ反映させる。

B. 開催日

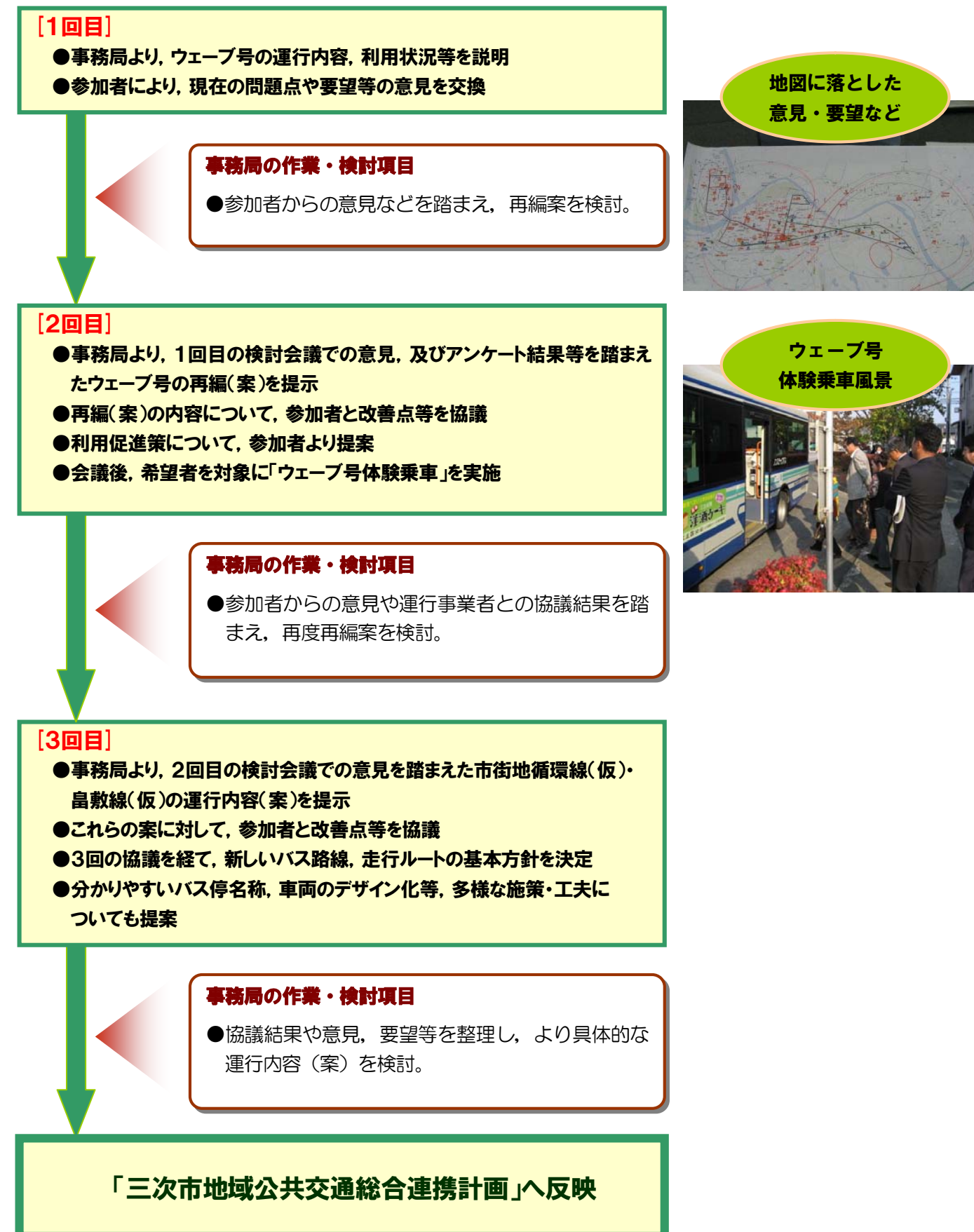
検討会議は、平成21年9月29日(火)、10月27日(火)、12月15日(火)の3日開催した。

C. 参加メンバー

検討会議の参加メンバーは、以下のとおりである。

	団体名等	名前(敬称略)
市民代表	三次地区自治会連合会長	小原 克彦
	三次地区自治会連合会事務局	中島 達男
	八次地区連合自治会(推薦)	岩崎 笙子
	八次地区連合自治会(推薦)	岸田 立
	十日市自治連合会(推薦)	住吉 愛子
	十日市自治連合会(推薦)	岩井タカ子
商工団体代表	三次商工会議所	竹本 勇夫
学識経験者(座長)	米子工業高等専門学校	加藤 博和
公共交通事業者	備北交通(株)	實兼 利光 松栄 秀登

D. 実施の流れ



E. 検討結果…再編に向けての基本方針

